

## 入居住宅に関する状況通知書

(不動産仲介業者等記載欄)

表面は全て不動産仲介業者等  
にて記入してください。

足立区長様

いる住宅に関する以下について通知します。  
いことの確認事項について相違ありません。また、必要に応じて暴力団員等と関係  
する者、自治体が官公署から情報を求めるることを同意します。

令和〇年〇月〇日

(商号又は名称) ○○不動産  
 フリガナ  
 表者名  
 代表取締役 ○○ ○○  
 在地) 〒 ○○○-○○○ ○○区○○町○○○  
 証番号  
 持有者等) 氏名 ○○ ○○ 所属 営業  
 電話番号 ○○○-○○○○-○○○○  
 が記入する場合は、氏名、所在地、電話番号のみを記載して下さい。  
 証番号は、宅地建物取引事業者のみ記載してください。

※「入居者について」の欄についても、必ず  
不動産仲介業者等が記入してください。

※訂正が生じた場合には、修正液等を使用せ  
ず、訂正印を押してください。

※関係を有しないことの確認事項  
生活困窮者自立支援制度に係る自治体事務マニュアル第7の2-12(3)ア①から⑨に該当する「暴力団員等（暴力団員又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者）と関係を有する不動産仲介業者等」でないこと

## 入居者について

フリガナ 氏名	○○ ○○ ○○ ○○
生年月日	昭和〇年〇月〇日
同居状況	単身・複数(名)
入居開始年月日	令和〇年〇月〇日 (令和〇年〇月〇日までの〇月〇日間)

賃貸借契約書と、同居  
人数があつてあるか確  
認してください。

## 入居している賃貸住宅について

名称	○○○○
所在地	足立区○○町○○○
月額家賃	○○,○○○ 円

共益費・管理費を除いた実家賃の金額で  
記入してください。

- ※1 住居確保給付金の支給額は、当該自治体における住宅扶助に基づく額（限度額：円）を上限とし、  
収入に応じた額とする。
- ※2 住居確保給付金の対象となる賃貸住宅の契約については、借地借家法により、保護の対象となる賃貸借  
契約及び定期賃貸借契約に限る。

- ※3 共益費・管理費は住居確保給付金の対象にならないため、家賃には含めずに記載。

- ※4 定期借家契約（定期建物賃貸借契約）の場合に限り、入居開始日欄の（ ）内に、入  
日までの期間を記載すること

- ※5 賃料の支払方法がクレジットカードや納付書払い、家賃債務保証業者が受給者に代  
する債務の弁済をする方法により賃料を支払う必要がある場合は、以下のチェックボックスを  
チェックすること。

なお、支払方法について口座振替等を選択可能な場合は、上記に掲げる支払い方法

賃料の支払いは、クレジットカードや納付書払い、また家賃債務保証業者  
に限定している。

口座振込又はクレジットカード払い等とすることができるが、途中変更が

口座振込に変更することができるが、変更手続きに時間を要する（〇月〇日）

## 振込口座

住居確保給付 金の振込先	貸主又は貸主か ら委託を 受けた事業者 の振込口座	フリガナ 口座名義 金融機関名 支店名 口座種別 口座番号	○○ ○○ ○○ ○○ ○○銀行 ○○支店 普通・当座 ○○○○○○○
-----------------	------------------------------------	--	--

※住居確保給付金は、  
原則、貸主又は貸主か  
ら委託を受けた事業者  
へ足立区から直接振り  
込みますので、必ず記  
入してください。

※振込先は、賃貸借契  
約書に記載のある口座  
と同一の口座にしてく  
ださい。（異なる場合  
は、後日確認させてい  
ただきます。）

### 様式第3号（第4条関係）

（住居確保給付金支給申請者 本人記入欄）

入居している賃貸住宅は上記のとおりです。

○私の個人情報が、住居確保給付金の支給を行うために必要となる範囲内で、都道府県等、公共職業安定所、職業安定法（昭和22年法律第141号）第4条第9項に規定する特定地方公共団体、同条第10項に規定する職業紹介事業者であって地方公共団体の委託を受けて無料の職業紹介を行う者、社会福祉協議会及び自立相談支援機関の間で相互利用されることについて同意します。

○住居確保給付金の支給は、原則として、貸主又は貸主から委託を受けた事業者等の口座へ振り込まれることにより、私への支給となることについて同意します。

#### 【1ページ目※5のチェックボックス□に☑がある場合のみの同意事項】

○以下に記載する、賃借人の口座に振り込む方法により支給された場合は、確実に貸主又は貸主から委託を受けた事業者等に支払うことについて同意します。

○上記の場合であっても、支払い方法の変更により、貸主又は貸主から委託を受けた事業者等の口座へ振り込むことができることとなった場合は、すみやかに本様式の再提出及び住居確保給付金変更支給申請書（様式9-1）の提出により、変更支給申請を行ふことに同意します。

○自治体の求めに応じて、貸主又は貸主から委託を受けた事業者等に支払ったことを証明する文書を速やかに提出することに同意します。

住居確保給付金の振込先	賃借人の振込口座	リガナ	
		口座名義	
		金融機関名	
		支店名	
		口座種別	普通・当座
		口座番号	

【以下は、申請者全員記載してください】

年 月 日

※この欄は、必ず申請者本人  
が記入してください。

氏名 ○○○  
住所 ○○区○○町○○○  
電話番号 ○○○-○○○○-○○○○

#### （注意事項）

住居確保給付金支給申請者は、賃貸住宅の賃貸借契約の写しを添付して、この通知書を足立福祉事務所 福祉課に提出してください。

（参考）生活困窮者自立支援制度に係る自治体事務マニュアル（抄）

第7の2-12(3)ア. 暴力団員等と関係を有する不動産仲介業者等の排除

暴力団員又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者（以下「暴力団員等」という。）と関係を有する不動産仲介業者等であることが確認された場合は、当該不動産仲介業者等に対し、当該不動産媒介業者等が発行する「入居（予定）住宅に関する状況通知書（様式2-1又は2-2）、入居住宅に関する状況通知書（様式3）」を受理しない旨を書面により通知し、以後、「入居予定住宅に関する状況通知書（様式2-1又は2-2）、入居住宅に関する状況通知書（様式3）」を受理しないものとする。

なお、暴力団員等と関係を有する不動産仲介業者等とは次のいずれかに該当するものをいう。

- ① 法人の役員又は営業所若しくは事務所の業務を統括する者その他これに準ずる者（以下、「役員等」という。）のうちに暴力団員等に該当する者のいる不動産仲介業者等
- ② 個人で営業所又は事務所の業務を統括する者その他これに準ずる使用人のうちに暴力団員等に該当する者のいる不動産仲介業者等
- ③ 暴力団員等をその業務に従事させ、又はその補助者として使用するおそれのある不動産仲介業者等
- ④ 暴力団員等がその事業活動を支配する不動産仲介業者等
- ⑤ 暴力団員等が経営に実質的に関与している不動産仲介業者等
- ⑥ 役員等が自己若しくは第三者の不正の利益を図り又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団の威力又は暴力団員等を利用するなどしている不動産仲介業者等
- ⑦ 役員等が暴力団又は暴力団員等に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与している不動産仲介業者等
- ⑧ 役員等又は経営に実質的に関与している者が暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有している不動産仲介業者等
- ⑨ 暴力団員等である個人、又は役員等が暴力団員等である法人を、その事実を知りながら、不当に利用するなどしている不動産仲介業者等

〔暴力団とは、「暴力団による不当な行為の防止等に関する法律」（平成3年法律第77号）第2条第2号にあるとおり、「その団体の構成員（その団体の構成団体の構成員を含む。）が集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うことを助長するおそれがある団体」を指します。〕